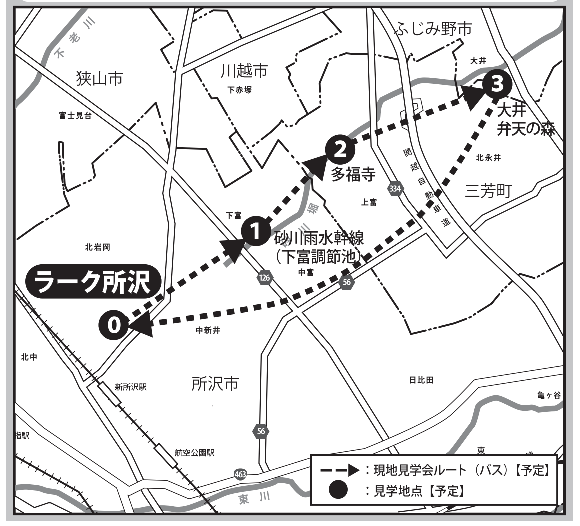
第13回 川でつながる発表会

参加無料

第12回発表会のようす

新河岸川流域内の学生が、川、水、環境について、日頃の活動成果を発表し、さまざまな世代が川について交流する場として、発表会を開催いたします。

平成30年2月11日(日)10:00～16:00(受付9:30)
ラーク所沢（〒359-0047 所沢市花園2丁目2400番地の4）



■プログラム

9：30	受付
10：00	開会
10：10～12：00	現地見学会
12：00～13：00	昼休憩
13：00～14：35	発表会/ 小学生～大学生による川、水、環境に関する発表
14：35～16：00	交流会/ 学校、市民団体、行政によるパネル展示、クイズラリーなど
16：00	閉会

■内容・時間等一部変更になる可能性があります。
■現地見学会以外のプログラムは予約不要です。

水循環・治水をテーマに、砂川堀流域における治水施設、湧水地などの見学をします。知って楽しみ、見て楽しめる内容となっておりますので、ぜひご参加ください。

■現地見学会に参加希望の方は申し込みが必要！（先着40名程度）
氏名・職業/学校・住所・電話番号をご記入のうえ、右記E-MailまたはFAXにてご連絡ください。

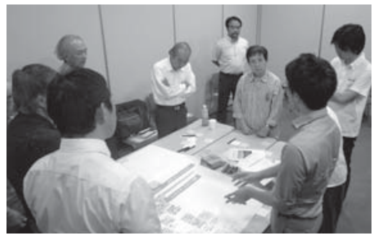
【申込先】
新河岸川流域川づくり連絡会事務局
日本工営（株）都市・交通計画部 担当:金田、今野
E-Mail：sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp
FAX：03-3238-8239

事務局だより

第2回連絡会が開催されました

10月3日（火）に第2回新河岸川流域川づくり連絡会が開催されました。第2回連絡会では、2月に開催予定の「第13回川でつながる発表会」のプログラムや現地見学会の見学施設・コース等について協議しました。

また、勉強会では新河岸川流域における課題や今後の取り組みに関するワークショップを行いました。


第２回連絡会のワークショップの様子

川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、今年度は残り2回の開催を予定しております。参加希望の方は下記の連絡先までお問い合わせください。

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各地域での活動報告やイベント情報を募集しています。川に関する身近な情報などをお手紙またはFAXなどで下記連絡先までお寄せください。

■ 連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
（国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内）
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html

THE SHINGASHI BASIN NEWS
新河岸川流域しんぶん 里川 SATO GAWA
発 行●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 調査課内）
住 所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日●平成29年（2017）12月28日
VOL.84

切り絵 毛利将範

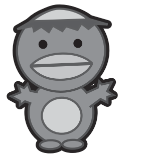
目次

木枯らしが吹きすさぶころとなりましたが、皆様いかがお過ごしですか。

中面では、7月～10月に新河岸川流域で開催した川まつりの様子を紹介しています。また、今回の特集記事では所沢市の職員に実施した、いい川づくりに向けた行政間、市民との連携などに関するインタビューの内容を紹介しています。

P2～3 新河岸川流域の活動報告 2017
P4 第13回川でつながる発表会開催案内、事務局便り
P5 特集：所沢市が行う流域を守る取り組みを知ろう！ ～市民、行政間のいい川づくりに向けた連携～

新河岸川流域の活動紹介in2017



今年度も、新河岸川流域の各地で川まつりが開催されました。今号では7月～10月までに開催された川まつりでの催しや様子を紹介します。

7/16 黒目川（東久留米市）
「第24回 わくわく川清掃&かわあそび～今年は黒目川で遊ぼうよ！～」
【主催】わくわく川掃除&川あそび実行委員会

「第24回わくわく川清掃&かわあそび～今年も黒目川で遊ぼうよ！～」が東久留米市の小山れんげ公園で開催されました。はじめに、黒目川の清掃が行われました。黒目川の清掃に集まった参加者は、黒目川にかかっている上落馬橋付近から神宝大橋付近までの間を協力して、川の中や河原にあるゴミを拾い集めていました。次に、水がき講座や魚とりが行われ、黒目川に生息している魚や水生生物などに子どもたちは興味を持ってイベントに取り組んでいました。他にも黒目川の中では、タイヤボート乗り、竹の一本橋渡りなどが行われました。また、消防隊員によるイベントで放水体験が行われるなど、黒目川で参加者は川に親しみ、交流を深めた1日でした。

黒目川の清掃の様子

7/17 東川（所沢市）
「東川・川まつり　（身近な川しらべ）」
【主催】東川を愛する会

「東川・川まつり（身近な川しらべ）」が所沢市の川端橋付近で開催されました。朝から地元の小学生や中学生が中心に、東川の清掃が行われ、川端橋付近の川の中や河原にあるゴミを拾い集めていました。東川の清掃が終わった後、水質調査やミズガキ講座が開催され、川の恵みや生き物の大切さを学ぶとともに、理解を深めていました。次に、さかな教室が行われ、東川を愛する会の方が魚のとり方などを実演し、参加していた小学生や中学生は楽しみながら、夢中でイベントに取り組んでいました。参加した小学生は「身近な東川にこんなに魚がいっぱいいたのか」と驚いていました。また、ふね遊びが行われるなど、東川で遊び、東川について多くのことを学べた1日でした。

さかな教室の様子

7/22 柳瀬川（清瀬市）
「2017　きよせの環境・川まつり」
【主催】きよせの環境・川まつり実行委員会

「2017きよせの環境・川まつり」が清瀬市の台田運動広場で開催されました。川の中では、ボート遊びや巨大なバルーンを空気で膨らませて、人がその中に入り、水上を走ったり、転がったりするウォーターバルーンで遊ぶイベントが行われました。参加した小学生や中学生は、普段なかなかできない体験にとても楽しんでいました。その後、いかだコンテストが行われ、それぞれ特徴のあるいかだで、競争し、会場を沸かせていました。また、「柳瀬川流域の名木・巨木を訪ねて」と題した自然観察会や、川や環境にちなんだ川柳コンテストが行われるなど、主に親水をテーマとしたイベントに参加者はとても楽しんでいました。

いかだコンテストの様子

8/6 北川（東村山市）
「第22回北山わんぱく夏まつり」
【主催】第22回北山わんぱく夏まつり実行委員会

「第22回北山わんぱく夏まつり」が東村山市の北山公園で開催されました。北山公園では、北川ウォークと題した、ザリガニ釣りやウシガエル捕獲などを行うイベントが行われ、小学生たちは生物を手に取り、自分たちで考えながら、観察をしていました。自分でとった生物は、水槽が設置してある北川水族館というブースで展示され、小学生だけではなく、おとなたちも、北川に生息している生物について、とても興味を持っていました。他には、北川でカヌー遊びや北山公園付近の八国山で昆虫採集を行う「八国山虫取りハイク」が行われるなど、川や生き物にふれあいながら学び、多くのこと知ることができた夏まつりでした。

カヌー遊びの様子

8/6 黒目川（新座市）
「第19回わいわい川遊び『アユの棲む黒目川をきれいにして川で遊ぼう』」
【主催】黒目川流域川づくり懇談会

「第19回わいわい川遊び『アユの棲む黒目川をきれいにして川で遊ぼう』」が新座市の栗原1丁目公園で開催されました。はじめに、黒目川の清掃が行われました。栗原1丁目公園付近の川の中や河原にあるゴミを拾い集めていました。次に、魚類調査が行われました。参加者は網を持ち、主催者による魚のつかまえ方のお手本を見て、小学生だけではなく、おとなも夢中になって魚をつかまえていました。中にはアユをつかまえて喜んでいる参加者もいました。他には、水ガキ講座が行われ、当日に黒目川でとれた魚を水槽に入れて、主催者が魚に関するクイズを行い、子どもたちは楽しみながら、魚の種類や生態について学んでいました。また、ゴムボート遊びが行われるなど、黒目川で遊び、生物など多くのことを知ることができた1日でした。

水ガキ講座の様子

8/20 黒目川（朝霞市）
「黒目川・川まつり　こどももおとなもハンディのある人もない人も」
【主催】黒目川流域川まつり実行委員会

「黒目川・川まつり　こどももおとなもハンディのある人もない人も」が朝霞市の新高橋付近で開催されました。はじめに、黒目川の清掃が行われました。新高橋付近の河原にあるゴミを拾い集めていました。黒目川の清掃が終わった後、水質調査と魚類調査を行いました。主催者の方が子どもたちに魚のとり方を教えると、子どもたちはそのとり方を真似て夢中になって実践していました。魚がとれると周囲の方々から大きな歓声が上がりました。その後、主催者の方から魚の特徴や生態に関する説明があり、小学生は理解を深めました。また、カヌーやゴムボートを使った川遊びが行われるなど、川とのふれあいや地域交流の場として、大いに盛り上がったイベントでした。

魚類調査の様子

10/7 越戸川（和光市）
「第21回 越戸川まつり」
【主催】和光自然環境を守る会

「第21回越戸川まつり」が和光市の赤池親水公園で開催されました。開会式では、地域の音楽団体の方による独唱や、みどりのそよ風児童合唱団が童謡を元気いっぱいに歌っていました。あるブースでは、黒目川に親しむ会の方による魚の勉強会が開催され、小学生は興味を持って、魚の種類や生態について話を聴いていました。また、川の応援団・和光自然環境を守る会が作成した、越戸川での活動内容や歴史などを紹介するパネルの展示や説明、越戸川付近に生息する野鳥などを写した写真の展示が行われていた他、竹細工体験コーナーなど様々なブースが設置され、多くの子どもとおとなの交流の場として賑わっていました。

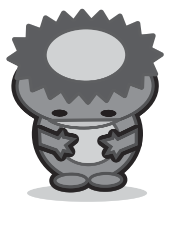
開会式の様子

10/22 白子川（練馬区）
「第17回 白子川源流まつり」
【主催】第17回 白子川源流まつり実行委員会

「第17回白子川源流まつり」が練馬区の大泉南小学校の体育館で開催されました。会場では、白子川に生息する生物や白子川での活動紹介などが記載されたパネルの展示がされ、参加者は興味を持って見入っていました。あるブースでは、雨水浸透施設の模型を使った水循環の説明がされており、参加者は興味を持って、質問をしていました。また、小学4年生の児童たちが、総合的な学習の中で行った「白子川調べ学習」の成果を発表していました。子どもたちは、白子川の歴史や水生生物など、グループごとで調べた成果を元気に発表し、親御さんや参加者たちが興味を持って聴いていました。

パネル展示の様子

※今回は流域内での活動の一部を紹介しました。流域内では、他にも様々な活動が実施されています。
活動紹介にご協力頂いた各川まつり担当者の皆様、ありがとうございました。



所沢市が行う流域を守る取り組みを知ろう！
～市民、行政間のいい川づくりに向けた連携～

THE SHINGASHI BASIN NEWS
新河岸川流域しんぶん 里川
No.84

第 83 号特集では新河岸川流域で川に関する取り組みを行っている“学校”を紹介しました。今号特集では、流域で川に関する取り組みを行っている“行政”のお仕事について、流域に住むみなさんにお届けします。

今回は所沢市建設部河川課にインタビューをして、日頃のお仕事や市民、行政の連携についてお話を伺ってきました。

▲インタビューの様子

所沢市建設部河川課の日々のお仕事

もとは道路を管理するグループと一緒の部署でしたが、現在は河川課として独立し、日々流域を守る取り組みをしています。

■主なお仕事

川や水路を長い間使えるように管理すること / 台風などの被害を減らすために、雨水を貯められる緑地や施設を管理するなどの対策をすること / 台風などにより被害を受けた場所を点検することやなおすこと

■管理している主な川・水路

所沢市内の一級河川以外の普通河川・水路。管理している区間の長さは約 95 ㎞
（例：林川、樽井戸川、中村川、砂川堀、東川などの一部の区間）

▲管理している主な川・水路
※川の点線部は他の自治体が管理

▲川を長い間使うために工事した場所

所沢市建設部河川課の市民との連携　～市民と連携した「いい川づくり」～

❶ 所沢市水辺のサポーター制度

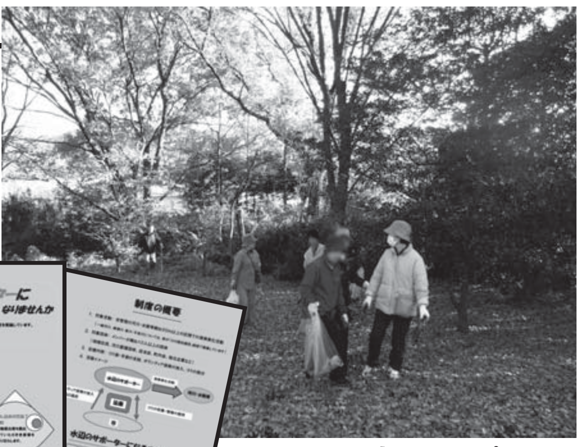
「水辺のサポーター」を募集しており、所沢市が管理する川や水路のきれいな水辺を守る市民の活動を支援しています

◎**対象とする活動**：市管理の河川や水路など概ね 50m以上の区間での清掃美化活動
（一級河川、柳瀬川、東川、不老川は埼玉県の「川の国応援団」制度で募集中）

◎**対象となる団体**：市内在住、在勤、在学でメンバーが概ね 10 人以上のボランティア団体

◎**市が行う支援**：ゴミ袋・手袋の支給　／　ボランティア保険の加入　／　ゴミの処分

★詳しくは下記ＵＲＬまで
https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/smph/kurashi/seikatukankyo/kankyohozen/kasen/kasen01.html


▲水辺のサポーターの活動の様子

◀水辺のサポーター制度のチラシ

❷ 所沢市ふるさとの川再生事業

昔のようにきれいな川を取り戻そうとする市民が増えています。そのため、自然豊かな川、きれいな水辺をめざした多自然川づくりを、市民と連携して取り組む「所沢市ふるさとの川再生事業」を行っています。現在は 2 団体と連携しています。

▲ふるさとの川再生事業の事業地

❸ 所沢市生涯学習まちづくり出前講座

「所沢の河川」という講座を担当しており、受講を希望する団体や市民に、川に関する所沢市の取り組み（川の管理や台風対策など）を説明しています。

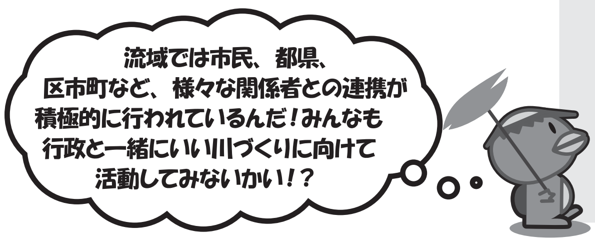
▲出前講座の様子

❹ 川でつながる発表会

平成26年12月14日に所沢市立所沢小学校で行われた「第 10 回川でつながる発表会」において、現地見学会での見学地点の説明、水の流れに関する授業（右写真）、台風などの被害を減らすための取り組みや水の流れに関するパネル展示をしました。

▲第10回発表会の水の流れに関する授業の様子

第 13 回川でつながる発表会 開催案内
日付：平成 30 年 2 月 11 日（日）　於：ラーク所沢
・現地見学会（事前申込制／定員 40 名）
10:00 ～（9:30 受付）
・発表会 13:00 ～ 16:00
お問い合わせ先：新河岸川流域川づくり連絡会　金田・今野
電話：03-3238-8257，メール：sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp
※内容・時間等変更となる可能性があります。



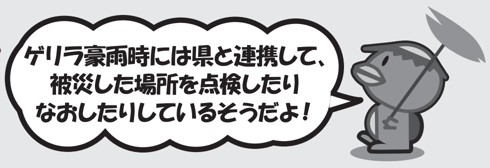
所沢市建設部河川課の行政間の連携

■上流と下流の行政間の連携

中野川が所沢市と新座市を流れており、1つの川を協力して管理する必要があるため、年に2回、話し合いの場を設けています。

■埼玉県との連携

平成28年 8 月台風 9 号の被害を受けて、埼玉県と「河川・下水道事業調整協議会」という被害を減らすための話し合いの場を設けています。



所沢市建設部河川課の今後の取り組み

今後は市民と行う連携の中でも、「所沢市ふるさとの川再生事業」で新たに3つ目の団体と協力することや、埼玉県との河川・下水道事業調整協議会などの話し合いの場を活用することをとおして、流域内の市民、県、区市町との連携の継続と強化に取り組まれるとのことです。